

京都醸造



アメリカとベルギーのビール製法を融合

京都醸造は、東寺に近い京都市南区の一画にあるクラフトビールの醸造所です。創設者はアメリカ出身のクリス・ヘインジさん、ウェールズ出身のベン・ファルクさん、カナダ出身のポール・スピードさんの3人。クリスさんが醸造、ベンさんが営業、ポールさんが経営を担当しています。

3人は2005年に、JETプログラムの赴任先だった青森で出会いました。その後それぞれ別の仕事をしていましたが、MBA取得をきっかけに起業への思いが芽生えたポールさんと、「趣味のビールを仕事にしたい」と考えていたクリスさんが意気投合。さらにベンさんが合流し、会社設立へ向けて動き始めることに。3人は綿密に作成した事業計画書を携えて、家族や友人、元職場の上司など一人ひとりを説得し、34人の投資者から総額1億円の資金を集めます。そして2015年、伝統と革新が共存する土地柄に惹かれ、京都に醸造所を設立しました。

京都醸造のビールの特徴は、アメリカとベルギーの2つの国のビール製法をかけ合わせていること。ベルギー産の酵母とアメリカ産のホップを使い、双方の良さを生かしたユニークなビールを追求しています。商品は3種類の定番シリーズを柱に、年に数回登場する準定番、季節限定、限定醸造などのシリーズがあり、年間40～50もの新作をリリースしています。

効率的にBtoBを管理できるShopify

京都醸造は、店舗に卸すBtoBがメインの醸造所です。ECストアを開くにあたっては、多くの顧客と効率的にやりとりができ、種類豊富なビールの在庫管理ができるツールを探し、Shopify導入を決めました。

「友人から勧められてやってみたら、数時間で簡単にECストアができました。たくさんのアプリがあって、検索すればすぐ見つかるのも便利ですね。カスタマイズして、大量注文があっても、納品の日付や時間帯など商品発送までの管理を効率的にできるようになりました。分析機能も大変重宝しています。BtoCとしてShopifyを使っているユーザーが多いとは思いますが、最近は細かいところまで改善されてBtoBとしても使いやすくなりました」（ポール・スピードさん）

2020年に一般向けのBtoCストアもオープンし、今後はさらに取り扱う商品数を増やしていく予定です。



ビールと人に一期一会を。

WELCOME TO KYOTO BREWING CO.

一般のお客様 - 商品ページ

業務店様向けサイト

BtoBからBtoCへの展開もスムーズに

京都醸造のストアで活躍しているアプリをご紹介します。

- Langify：多言語サポートアプリ
- Locksmith：ユーザからの特定のページや製品へのアクセス制御機能アプリ
- OneSaas Retail：注文を自動的に会計ソフトウェアにエクスポートするアプリ
- Shopify Flow：特定のタスクを自動化する機能

「作業を効率化できるものや当社のビジネスモデルに役立つものを探していたので、Shopify FlowやLocksmithは役立っています」

テーマは、BtoBストアでParallax、BtoCストアでPrestigeを利用しています。Prestigeは、BtoC向けデザインですが、BtoBのお客様が疎外感を感じずサブドメインのBtoBストアに誘導することができています。モダンなデザインを求めているので、デザイン性や機能性も評価しています。

京都のクラフトビールを牽引する存在に

日本で出会った3人の男性がゼロから立ち上げた京都醸造。初年度に600万だった売上は、2019年に1億6000万を達成しました。地元京都をはじめ、首都圏や大阪などにも販路を拡大し、成長し続けています。

京都醸造が誕生した当時、京都市内にはほとんど不在だった同業者が、今ではずいぶんと多くなりました。3人はその環境の変化をむしろ歓迎しています。

「クラフトビールの普及につながりますからね。醸造所が増えればお客さんがこの地域にやってくる。京都のいろいろな醸造所を回って、うちにも来てもらえれば楽しいじゃないですか。近い将来アンテナショップも開きたいと考えています」

ワイナリー巡りのように、クラフトビール巡りが京都の名物になる日も近いのかもしれませんが。京都、そして日本を代表するクラフトビールを目指して、3人の挑戦は続きます。

【会社概要】

会社名：京都醸造株式会社

代表取締役：スピード・ポール・アンソニー

設立：2014年3月

